

社会保障と税の一体改革について

【参考】

～ 公平・公正で、自助・共助・公助のバランスの取れた、全ての人がより受益を実感できる社会保障へ ～

未来への投資(子ども・若者支援)を強化し、全世代対応型の社会保障制度の実現へ

改革の基本的方向性

医療・介護等サービス保障の強化
ライフ・イノベーションの推進

貧困・格差対策の強化
(重層的セーフティネットの構築)

多様な働き方を支える
社会保障制度へ

社会保障の安定財源の確保

必要な社会保障の機能強化と社会保障の持続可能性を確保するため、
社会保障と税の一体改革を実現する。

(主要分野)

概算要求(主なもの)

制度改正等で目指すもの

I 子ども・子育て

待機児童解消策の推進など保育サービスの充実、社会的養護の充実 等

幼保一体化を中心にした子ども・子育て新システム

II 医療・介護等

地域医療確保対策、在宅医療・介護の推進、地域ケア多職種協働の推進等、後発医薬品の使用促進 等

・地域の実情に応じたサービスの提供体制の機能強化と効率化・重点化
・セーフティネット機能の強化

III 年金

持続可能で安心できる年金制度の運営(基礎年金国庫負担割合2分の1) 等

・信頼できる年金制度の確立
・短時間労働者への適用拡大

IV 就労促進

若者・女性・高齢者・障害者の就労促進、パートタイム労働者の均等・均衡待遇の確保と正社員転換の推進 等

「全員参加型社会」、
「ディーセント・ワーク」の実現

V その他の主な施策

ライフ・イノベーションの一体的な推進、子どもの貧困対策充実、良質な障害福祉サービスの確保 等

ライフ・イノベーションの推進、貧困・格差対策、障害者支援 等

診療報酬・介護報酬の同時改定

平成24年以降、関連法案の提出等、改革を着実に遂行

改革の全体像・ビジョンについて、国民に分かりやすく作成し、提示